

国連責任投資原則(PRI)への署名について

国連責任投資原則(PRI:Principles for Responsible Investment)とは、機関投資家の投資判断プロセスに投資先企業のESG(環境・社会・ガバナンス)の側面を考慮することで、顧客の中長期的な利益の拡大を図ることを目的とした国際的原則です。同原則は、国連環境計画・金融イニシアチブ(UNEP FI)*と国連グローバル・コンパクト(UN Global Compact)が作成し、2006年にアナン元国連事務総長が提唱したものです。

マニユライフ・アセット・マネジメント・グループは、国連責任投資原則(PRI)の趣旨に賛同し、このたび同原則に署名しました。

Signatory to:



国連責任投資原則(PRI)

1. 私たちは投資分析と意思決定のプロセスに ESG の課題を組み込みます。
2. 私たちは活動的な(株式)所有者になり、(株式の)所有方針と(株式の)所有慣習に ESG 問題を組み入れます。
3. 私たちは、投資対象の主体に対して ESG の課題について適切な開示を求めます。
4. 私たちは、資産運用業界において本原則が受け入れられ、実行に移されるよう働きかけを行います。
5. 私たちは、本原則を実行する際の効果を高めるために、協働します。
6. 私たちは、本原則の実行に関する活動状況や進捗状況について報告します。

マニユライフ・アセット・マネジメント・グループは、PRIに署名を行い、資産運用を行うにあたって ESG の側面に配慮する方針を明確にしております。ESG への取り組みについては、“Environment, Social and Governance Policy”(別紙)をご参照下さい。

*ご参考: マニユライフ・ファイナンシャル・コーポレーションは、国連環境計画・金融イニシアチブ(UNEP FI)に加盟していません。